

## 議題4 “鳥栖発”創生総合戦略の進捗状況等について

### ダイジェスト版

#### 基本目標1～4

## 1.金融機関との地方創生に向けた包括連携協定締結

### (1) 鳥栖市と7つの金融機関で地方創生に向けた包括連携協定を締結 (H28.11.21)

鳥栖金融協会に所属する、佐賀銀行、福岡銀行、西日本シティ銀行、佐賀共栄銀行、筑邦銀行、佐賀信用金庫、佐賀東信用組合の7金融機関と鳥栖市の1：1で締結。

### (2) 協定に基づく連携・協力事項

1. 創業に向けた支援に関する事。
2. 地場企業の経営基盤の強化に関する事。
3. 企業誘致の推進に関する事。
4. 働きやすい環境づくりに関する事。
5. 農林業の振興に関する事。
6. 観光の振興に関する事。
7. 定住人口・交流人口の拡大に関する事。
8. 結婚・出産・子育て支援に関する事。
9. その他、鳥栖市におけるまち・ひと・しごと創生に関する事。

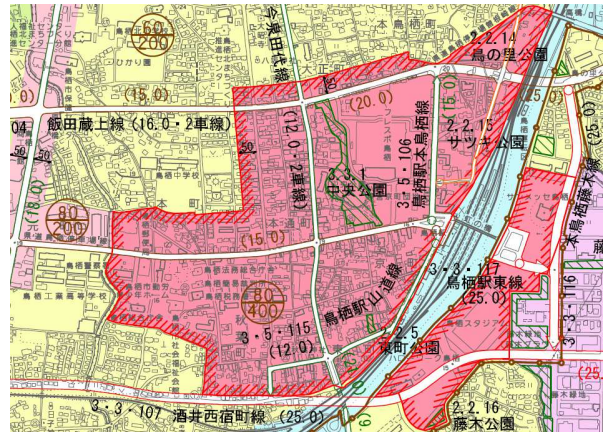


## 2.定住人口の受け皿強化の取組

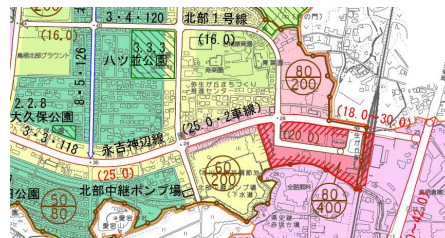
### (1) 商業地域におけるワンルーム賃貸住宅の駐車場確保規定の緩和

→「鳥栖市中高層建築物等の建築に係る紛争の予防に関する要綱」の改正

- 共同住宅建築時の駐車場確保規定について、**商業地域**（右図の赤い部分）**におけるワンルーム形式の賃貸住宅の場合のみ、1戸につき1台分以上から、2戸につき1台分以上へ緩和する。**
- 商業地域は、駅に近接し交通の便が良く、民間事業者からの要望も寄せられていることから、規定の緩和によって高度利用を促進し、定住人口の受け皿強化を図る。



商業地域その1（鳥栖駅周辺地区）



商業地域その2（弥生が丘駅前）

2

### (2) 既存集落の活性化に向けた「50戸連たん制度」の運用調査を開始

「50戸連たん区域指定基礎調査事業」（H29新規事業）

#### ① 50戸連たん制度とは？

- 都市計画法上、市街化調整区域の開発は規制されている。
- 50戸連たんの指定区域内（市街化調整区域の既存集落で、一定条件を満たした50戸以上連たんしている区域）の一定の開発を緩和する制度。
- 県内では、佐賀市が既に制度を運用している。

#### ② 50戸連たん制度の目的は？

- 鳥栖市の人口は増加しているものの、市街化調整区域の既存集落では、人口減少と少子高齢化が進展しており、集落の存続も危ぶまれている。
- そのため、この制度を活用して市街化調整区域の既存集落の維持・活性化を図る。

#### ③ 50戸連たんの指定区域になれば、自由に開発ができるのか？

- 鳥栖市においては、市街化区域との整合性を図る観点から、戸建て住宅の開発に限って運用を行う。（共同住宅や店舗等の開発は不可）

#### ④ 市内に候補となる集落は何ヶ所あるのか？

- 候補となる集落は市内20地区（19町区）あり、平成23年度から制度説明などを行っている。
- 平成29年度は地元合意が得られた江島町からの申出を受けて調査を行う予定。

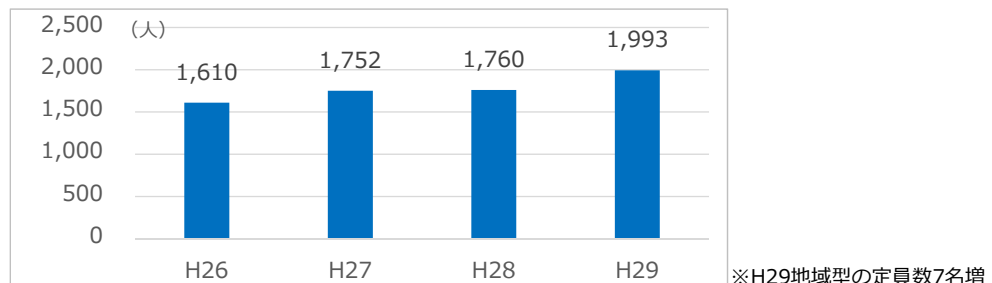
3

## 3. 保育所等整備促進の取組

### (1) 保育所等定員数の拡大

平成29年4月に私立保育所3園が新設予定。これにより、定員数226人増加、保育所等定員1,986人へ拡大。

### (2) 保育所等定員数の年度別推移



### (3) 子ども・子育て支援新制度に関する広報について

- ① 平成27年度施行の「子ども・子育て支援新制度」によって、保育所等の入所要件が、従来からの「保育に欠ける」から「保育が必要な」に緩和されました。
- ② これにより、従来までは「求職活動中」の世帯の児童は保育所等を利用できませんでしたが、一定条件化において利用が出来るようになったことなどが主な変更点となります。
- ③ 鳥栖市では、市報、ホームページによって、保育所等入所条件の変更等、子ども・子育て支援新制度の周知と広報に取り組んでいます。

4

## 4. 若者結婚支援の取組

### (1) 鳥栖市婚活支援イベント認定事業開始

結婚を希望する独身男女の出会いの場を提供するイベントの実施に対し、「鳥栖市婚活支援イベント」として認定し、市公式HP、SNS、市報等での広報を行い、市内での結婚、出産、定住促進につなげていくもの。

### (2) 鳥栖市婚活支援イベント等の実施状況

- 11/10 鳥栖市婚活支援イベント認定証第1号を交付
- 11/23 鳥栖市婚活支援イベント「第1回 VOYAGE DE婚活」
  - ・募集人数 男女各20名
  - ・参加人数 男性 23名 女性 22名 → カップル成立1組
- 2 /12 鳥栖市婚活支援イベント「第2回 VOYAGE DE婚活」
  - ・募集人数 男女各15名
  - ・参加人数 男性 24名 女性 24名 → カップル成立4組
- 2 /12 筑後川流域クロスロード協議会「クロスロード婚活バスツアー」
  - ・募集人数 男女各18名 (定員)
  - ・応募人数 男性 27名 女性 46名 → カップル成立8組
- 3 /25 鳥栖市婚活支援イベント「さくら咲く楽しい恋活」開催予定
  - ・開催場所 とりごえ温泉 栖の宿

5

## 5. (仮称)健康スポーツセンター整備事業の先送り

### (1) 災害時の対応拠点となる庁舎の整備を優先する

- ① 平成28年4月の熊本地震により、市庁舎等が耐震性能の不足から損壊し、使用不能となったことを踏まえ、防災拠点となる市庁舎のあり方と今後の方針について検討を開始。
- ② 1967年建築の現在の庁舎は、物理的耐用年数（建築後65年〔平成44年〕）までの期間が短いうえ、耐震補強を行うことで庁舎機能が制限されるため、新庁舎を整備することとした。
- ③ そのため、平成30年度に供用開始を予定していた（仮称）健康スポーツセンターの建設を見送ることとした。

### (2) 新庁舎は平成34年度の供用開始をめざす

- ① 平成29年度は、施設規模、建設場所、施設機能、事業費と財源、事業手法、スケジュール等について、市民や有識者の意見等を踏まえ、新庁舎整備の基本計画を策定予定。
- ② 現庁舎は、耐震性に問題があり、大きな地震により倒壊する可能性があるため、新庁舎整備は早急に取り組んでいく必要がある。